

Internet Explorer 11 更新・提供終了に伴うファイバチャネルスイッチの対応方針

1. マイクロソフト社の方針と影響

Windows 10 (半期チャネル) に搭載された Internet Explorer 11(以下 IE11)は 2022 年 6 月 15 日をもってサポート終了となることが発表されました。

- ・ サポート終了後、IE11 を起動しようとすると、Microsoft Edge (Chromium 版 Microsoft Edge)にリダイレクトされ、IE11 は使用できなくなります。
- ・ IE11 のサポートが継続される Windows 製品を使用されている場合、2022 年 6 月 15 日以降も IE11 の使用を継続できます。
 - ・ Windows 8.1
 - ・ Windows 7 ESU
 - ・ Windows 10 Server SAC (全バージョン)
 - ・ Windows 10 IoT LTSC (全バージョン)
 - ・ Windows 10 Server LTSC (全バージョン)
 - ・ Windows 10 クライアント LTSC (全バージョン)

Microsoft 社の情報(2021 年 5 月 19 日発表)

Internet Explorer は Microsoft Edge へ - Windows 10 の Internet Explorer 11 デスクトップアプリは 2022 年 6 月 15 日にサポート終了

<https://blogs.windows.com/japan/2021/05/19/the-future-of-internet-explorer-on-windows-10-is-in-microsoft-edge/>

「Internet Explorer 11 デスクトップアプリケーションのサポート終了」の発表に関連する FAQ

<https://blogs.windows.com/japan/2021/05/19/internet-explorer-11-desktop-app-retirement-faq/>

補足:

LTSC(Long-Term Servicing Channel)、LTSC(Long-Term Servicing Branch)

Windows 10(半期チャネル)は年 2 回の定期配信の機能更新プログラムによって継続的に新機能が提供されます。

一方、LTSC および LTSC は変更が制限されたり、クラウドに接続できない環境で、Windows10 を必要とする組み込みデバイスや用途に向けたもので、不具合の修正などのサポートは当該バージョンの発行から 10 年間受けることができます。

なお、LTSC は当初は「LTSC」という名称でしたが、2017 年に LTSC に改められました。

2. ファイバチャネルスイッチの対応方針

Web Tools は Web ブラウザ経由でファイバチャネルスイッチ(以下 FCSW)をモニタするグラフィカルユーザインタフェース(GUI)を提供する機能です。

この Web Tools について IE11 の更新・提供終了に伴う対応方針を表 2.1 に記載します。

機種ごと、また同機種においてもファームウェアバージョンにより対応が異なります。Web Tools を使用する場合は、お使いの機種、およびファームウェアバージョンにあわせて必要な対処をご確認ください。

なお、Web Tools 以外の機能は Web ブラウザを使用しませんので IE11 更新・提供終了の影響はありません。

表 2.1 【機種・ファームウェアバージョンごとの Web Tools の対応方針】

日立形名 (*4)	FCSW ファームウェアバージョン	Web Tools の対応方針
HT-4990-SW360H HT-4990-SW320H	v6.1.1d v6.1.2b / v6.1.2b1 v6.3.2e1 / v6.3.2e3 v6.3.2e4 / v6.3.2e8	IE を継続利用ください (*1)(*2)
HT-4990-SW6510V HT-4990-SW6510VQ	v7.0.2c / v7.0.2c2 v7.1.2b3	IE を継続利用ください (*1)(*2)
HT-4990-SW6505 HT-4990-SW6505Q	v7.0.2c / v7.0.2c2 v7.1.2b3	IE を継続利用ください (*1)(*2)
HT-4990-SWDCX8510	v7.1.2b3	IE を継続利用ください (*1)(*2)
HT-4990-SWG620 HT-4990-SWG620Q	v8.0.2a1 / v8.0.2a3	IE を継続利用ください (*1)(*2)
	v8.2.1a1 / v8.2.1e	Chrome をご利用ください (*3)
HT-4990-SWG610B* HT-4990-SWG610L*	v8.1.2a2 v8.2.1a1 / v8.2.1e	Chrome をご利用ください (*3)
HT-4990-SWX7B*	v9.0.1a	Web Tools は未サポートです

(*1) IE 以外の Web ブラウザでは Web Tools を起動することができません。

IE11 のサポートが継続される Windows 製品の使用や装置をローカルな環境に設置する等により IE11 サポート終了後も IE11 を継続使用できる環境を維持した上で、IE11 を継続利用してください。

(*2) Web Tools で取得可能な情報は、telnet インフェースからスイッチコマンドを実行することで取得することができます。

Web Tools を使用しなくても FCSW の管理・運用は可能なため、IE を継続利用できない場合は、スイッチコマンドを使用して FCSW の管理・運用をお願いします。

telnet インタフェースの使用法、およびスイッチコマンドの使用法については各機種用のユーザズガイドをご参照ください。

(*3) 利用可能な Chrome のバージョンは v92 以降です。Chrome をご利用頂く場合の Web Tools の起動手順については本お知らせの付録をご参照ください。

Chrome をご利用頂く機種・ファームウェアバージョンにおいても IE11 を継続使用できる環境を維持し、IE11 を継続利用して頂くことも可能です。

(*4) 日立形名末尾の“*”は、無償保証期間を示します(1 / 3 / 4 / 5 のいずれかとなります)。

付録. Chrome から Web Tools を起動する手順

Chrome は Web Tools を起動するためのブラウザの設定と Web Tools の起動手順が IE と異なります。

表 2.1 において対応方針欄が「Chrome をご利用ください」である機種・ファームウェアで Chrome をご利用頂く場合は、本付録を参照して Web Tools を起動してください。

本付録に記載のない項目や手順については IE の場合と共通ですので、ご使用頂いている機種のユーザーズガイド参照してください。

対応方針欄「IE を継続利用ください」である機種・ファームウェアをご使用の場合もご利用頂いている機種のユーザーズガイドをご参照ください。

1. Web Tools の概要

以下は Web Tools の起動手順画面です。

Web Tools は起動するために Web ブラウザを利用します。

Web Tools の詳細についてはユーザーズガイドを参照してください。

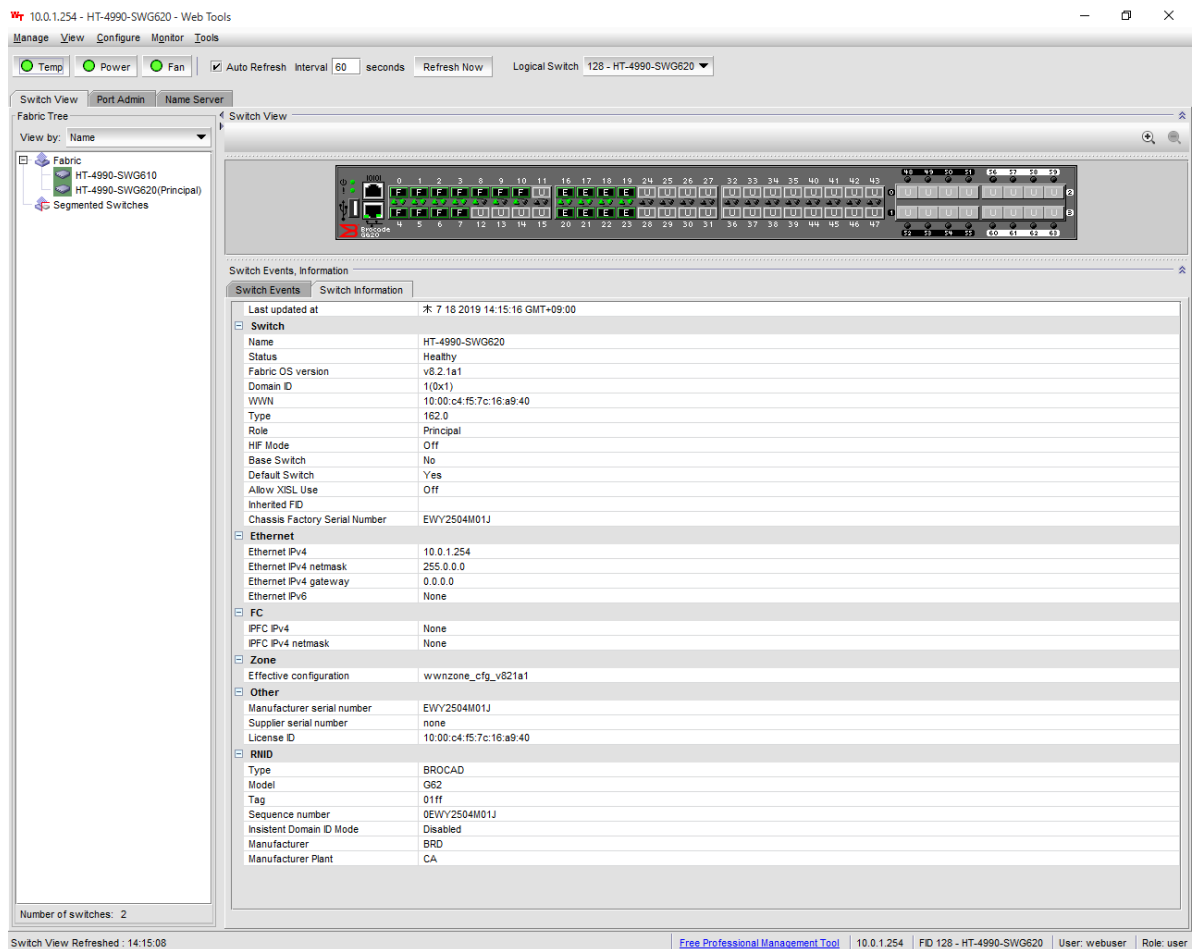
Web Tools は、いくつかに分かれたエリアを通して、FCSW と fabric についてのアクセスと情報を提供し、fabric の様々な側面をモニタすることを可能にします。

Web Tools 画面は、いくつかのエリアに分れます。

Web Tools を通して利用できる主なエリアを以下に示します。

- Fabric Tree - fabric 内全ての FCSW のリストを表示します。
- Switch View - Switch Status、FCSW 名、Fabric OS Version、Domain ID、IP アドレス、WWN、現在の Zone 構成を含む、FCSW についての情報パネルに加えて、FCSW の対話型グラフィックを表示します。

注: Version 表示は、実際とは異なる場合があります。

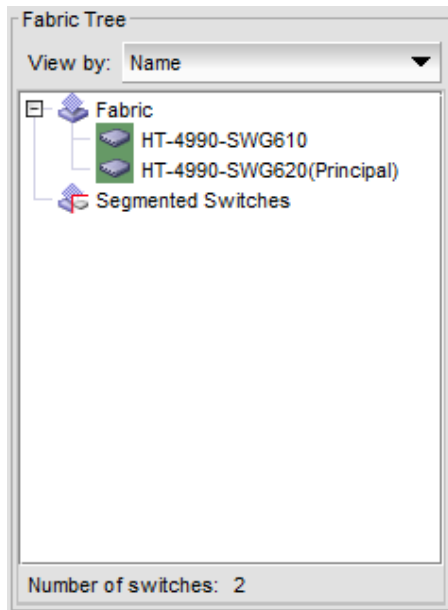


Switch Explorer View (Web Tools 起動画面)

(1) Fabric Tree

Fabric Tree は、Switch Explorer の左側ウインドウにあり、以下を表示します。

- fabric 内全ての FCSW のリストを表示します。
- Fabric Tree は、速く容易に fabric ワイドな管理タスクにアクセスすることを可能にします。



Fabric Tree

(2) Switch View グラフィック

Switch View グラフィックは選択した FCSW のグラフィック描写を表示します。このエリアは、Fabric Tree 上で FCSW アイコンを選択することによってアクセスでき、Port Admin の起動ポイントとなるボタンと、ポートの情報を表示するアイコンを含みます。

Switch View グラフィックは拡大と縮小ボタンを操作することにより表示範囲を切り替えることができます。



Switch View グラフィック



拡大と縮小ボタン

(3) Port Admin

Switch View グラフィックの任意のポートをクリックすることにより、ポートのための情報にアクセスすることができます。選択された General、SFP、Port Statistics の統計とステータスを表示します。

The screenshot shows the 'Port Admin' page for port 0 on a Hitachi switch. The interface includes a navigation menu with 'FC Ports' and 'Port Error Details' tabs. The 'FC Ports' tab is active, showing a tree view of ports from Port 0 to Port 47. The 'Port 0' configuration details are displayed in a table format, organized into sections: General, SFP, and Port Statistics.

Section	Property	Value
General	Port Number	0(0x0)
	Port Name	port0
	Port WWN	20:00:04:15:7c:16:a9:40
	Port Media	sw
	Port Type	F-Port
	Bound Status	No
	Port protocol	FC
	Allowed Port Type	E-Port,F-Port
	Speed (Gbps)	NB
	Speed Combination	1 (Auto or Fixed 32G/16G@Q4G)
	Speed Configured	Auto
	Physical Port	N/A
	Ingress Rate Limit (Gbps)	Not Available
	QoS Status	Disabled
	CSCCL Mode	Disabled
SFP	Long Distance Mode	L0 Normal
	Desired Distance (km)	N/A
	Port Status	Online
	Health	HEALTHY
	Additional Port Info	
	Controllable	Yes
	Licensed	Yes
	Port Index	0(0x0)
	Trunking	Disabled
	Trunk Port State	
	Master Port	
	Trunk Index	
	Logical Port WWN	
	NPIV	Enabled
	NPIV Max Login	120
Authentication	None	
Port Statistics	Port Id	0x010000
	Port Beaconsing	Disabled
	Port Peer Beacon	Disabled
	Compression	Disabled
	Compression Ratio	--
	Encryption	Disabled
	Forward Error Correction	Enabled (Inactive)
	FEC via TTS	Disabled
	Non DFE	Disabled
	Target Driven Zoning Mode	Disabled
	Buffers Reserved	20
	F-Port BS Credit	N/A
	E-Port BS Credit	N/A

Port Admin

2. Chrome で Web Tools を起動する

Chrome から Web Tools を起動する前に、以下のステップを実行して下さい。

- ワークステーションに Chrome をインストールします。(インストールされていない場合)
 - Web Tools を使用するために Chrome の設定をします。
 - 必要な JRE をインストールします。(インストールされていない場合)
- 必要な JRE やインストールについてはユーザズガイドをご参照ください。

(1) Chrome の設定

Chrome による Web Tools の正常な動作には、Java スクリプトを必要とします。

- Web Tools の正常な動作のために、Java スクリプトの設定をする必要があります。

Java スクリプトを設定するには：

1. “設定”メニューから“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。
 2. “プライバシーとセキュリティ”のメニューから“サイトの設定”をクリックします。
 3. “コンテンツ”から、“JavaScript”をクリックします。
 - “サイトが JavaScript を使用できるようにする”を有効にします。
- パフォーマンスを向上する目的でイメージファイルのローカルキャッシュコピーを使用する(ブラウザでオプション選択されている場合)ため、Web Tools を起動する前に、Web ブラウザキャッシュをクリアする必要があります。

キャッシュファイルを削除するには：

1. “設定”メニューから“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。
2. “閲覧履歴データの削除”をクリックします。
3. “データを削除”をクリックして、ブラウザを再起動します。

注

IPv6 プロトコル通信を使用する場合、Chrome がプロキシサーバを使用するように設定されていると WebTools を使用できません。
IPv6 プロトコル通信を使用する場合は、プロキシサーバを無効に設定する、もしくはプロキシサーバを使用しないアドレスとして設定した場合のみ使用可能です。

- IPv6 プロトコル通信を使用する場合、プロキシサーバの設定を無効、もしくはプロキシサーバを使用しないアドレスとして設定する必要があります。

プロキシサーバを無効に設定するには：

1. “設定”メニューから“設定”を選択します。
2. “詳細設定”から、“システムをクリックします。

3. “パソコンのプロキシ設定を開く”をクリックします。
4. “プロキシ サーバーを使う”を“オフ”にし、プロキシ設定画面を閉じます。
5. ブラウザを再起動します。

Chrome の設定についての補足:

SSL プロトコルで Web Tools を使用する場合は、ブラウザにルート証明書・CA 証明書がインストールされている必要があります。

ブラウザにルート証明書・CA 証明書がインストールされていない場合は必ずインストールして下さい。すでにインストールされているかどうかは、ブラウザに保存されている証明書を確認します。

以下に紹介する手順は、ルート証明書を Chrome にインストールする時のものです。

より詳しい手順については、証明書に添付されているドキュメントを参照して下さい。

また、SSL プロトコル用の他の設定についてはユーザズガイドをご参照ください。

・Chrome でルート証明書・CA 証明書の有無チェックとインストール

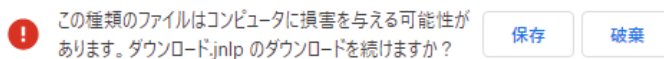
1. ブラウザの設定メニューから[設定]を選択します。
 2. [プライバシーとセキュリティ]の項目をクリックします。
 3. [セキュリティ]をクリックし、[証明書の管理]をクリックします。
 4. 各タブをクリックし、リストをスクロールしてルート証明書・CA 証明書がリストされているかどうかをチェックします。リストされている場合は、インストールする必要はありません。
 5. 証明書がリストされていない場合は、[インポート]をクリックします。
 6. [証明書のインポートウィザード]の指示に従って証明書をインポートします。
-

(2) Chrome で Web Tools を起動する

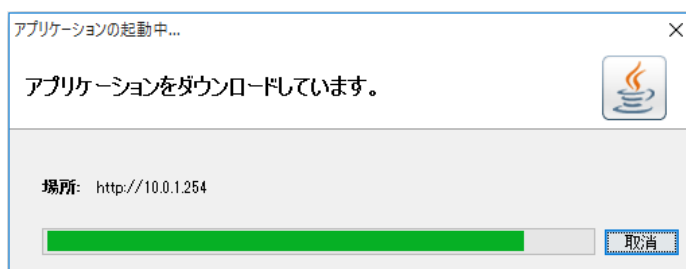
FCSW ファームウェアバージョンによって起動時にアドレスフィールドに入力するパラメータが異なりますので注意してください。

(2-1) FCSW ファームウェアバージョンが v8.1.2a2 の場合

1. Web ブラウザを起動します。
2. アドレスフィールドに FCSW の IP アドレスを入力します。
例: `http://10.0.1.254/[Enter]` ← FCSW の工場出荷時の IP アドレス
または、
`https://www.SWG610.co.jp/[Enter]` ← SSL プロトコル設定時の Common Name
(SSL プロトコル用の設定についてはユーザーズガイドを参照して下さい。)
3. [Enter]を押すと Web ブラウザ下部に以下のポップアップ画面が表示されます。
[保存]-[開く]をクリックすると Java Web Start が起動し FCSW より Web Tools アプリケーションの読み込みが行われます。
読み込み完了後、セキュリティ警告画面が表示されます。

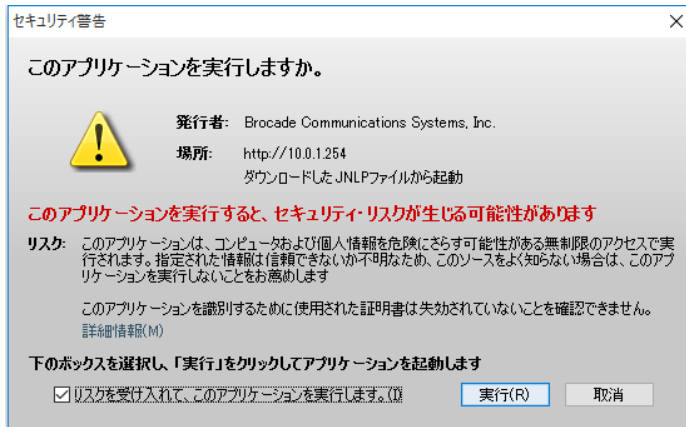


ダウンロード.jnlp



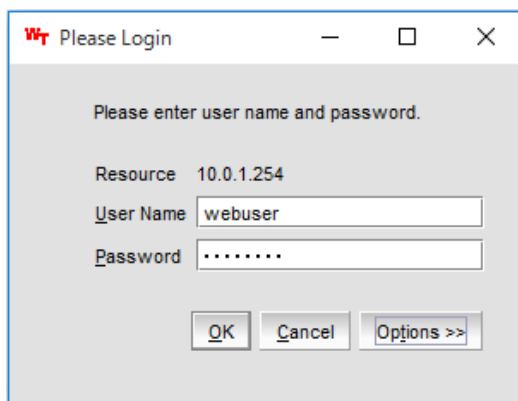
Java Web Start

4. セキュリティ警告画面で、チェックボックスにレ点を入れ実行ボタンをクリック。
ログイン画面が表示されます。



セキュリティ警告画面

5. user 権限の User Name、Password 入力後 OK ボタンをクリックすると Web Tools が起動し、Switch Explorer が表示されます。

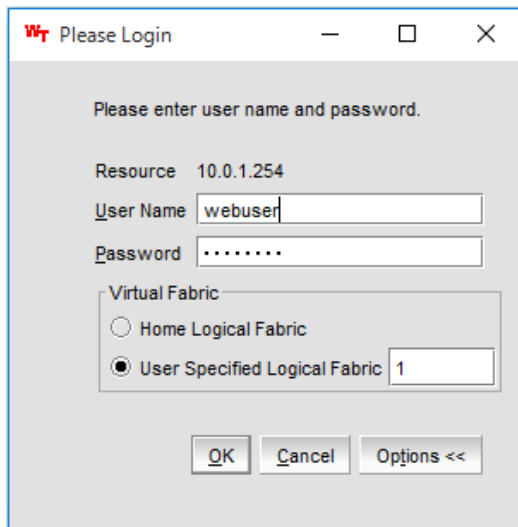


ログイン

VF が enable の場合、Options を使用して Home Logical Fabric 以外の論理スイッチに直接ログインできます。

Options を使用したログインをする場合：

1. ログイン画面が表示されている状態で user 権限の User Name、Password 入力後 Options ボタンをクリックします。
2. User Specified Logical Fabric を選択してログインする論理スイッチの FID を入力後 OK ボタンをクリックします。
Web Tools が起動し、指定した論理スイッチの Switch Explorer が表示されます。



Wt Please Login

Please enter user name and password.

Resource 10.0.1.254

User Name webuser

Password

Virtual Fabric

Home Logical Fabric

User Specified Logical Fabric 1

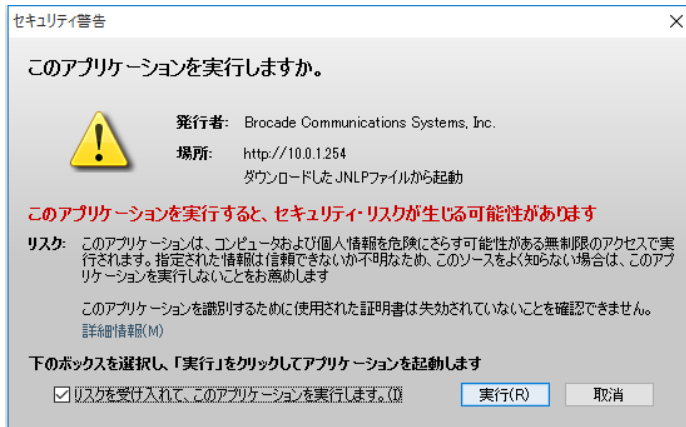
OK Cancel Options <<

Options を使用したログイン

注 fabric 中の他 FCSW も管理することができます。
管理にあたっては、当該 FCSW のマニュアルをご覧ください。

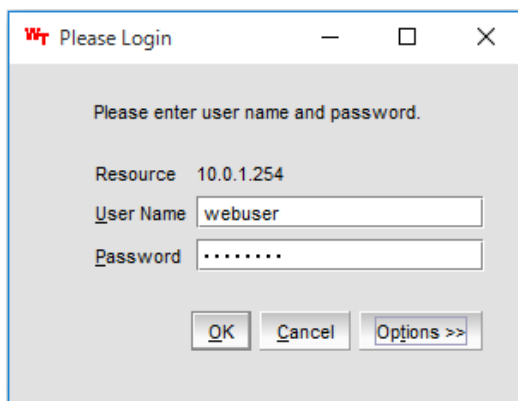
注 Web Tools 起動後、fabric の構成変更 (FCSW の増減設等) および fabric 内の FCSW の電源 on/off、Reboot、ファームウェアダウンロードを実行した場合は、Web Tools を再起動して下さい。

4. セキュリティ警告画面で、チェックボックスにレ点を入れ実行ボタンをクリック。
ログイン画面が表示されます。



セキュリティ警告画面

5. user 権限の User Name、Password 入力後 OK ボタンをクリックすると Web Tools が起動し、Switch Explorer が表示されます。

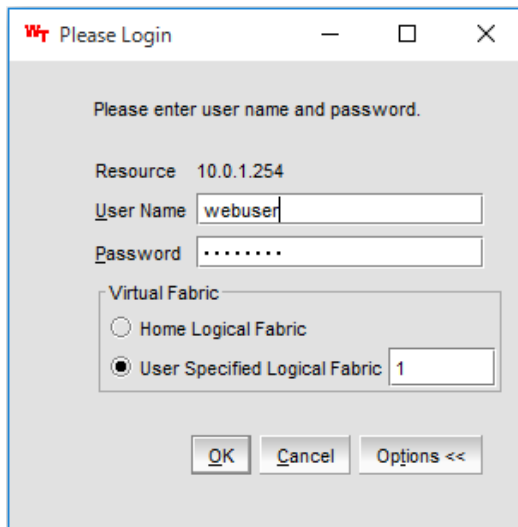


ログイン

VF が enable の場合、Options を使用して Home Logical Fabric 以外の論理スイッチに直接ログインできます。

Options を使用したログインをする場合：

1. ログイン画面が表示されている状態で user 権限の User Name、Password 入力後 Options ボタンをクリックします。
2. User Specified Logical Fabric を選択してログインする論理スイッチの FID を入力後 OK ボタンをクリックします。
Web Tools が起動し、指定した論理スイッチの Switch Explorer が表示されます。



Wt Please Login

Please enter user name and password.

Resource 10.0.1.254

User Name webuser

Password

Virtual Fabric

Home Logical Fabric

User Specified Logical Fabric 1

OK Cancel Options <<

Options を使用したログイン

注 fabric 中の他 FCSW も管理することができます。
管理にあたっては、当該 FCSW のマニュアルをご覧ください。

注 Web Tools 起動後、fabric の構成変更 (FCSW の増減設等) および fabric 内の FCSW の電源 on/off、Reboot、ファームウェアダウンロードを実行した場合は、Web Tools を再起動して下さい。

更新情報

- ・ 当ページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 当ホームページに記載されている製品には、他社開発製品が含まれています。
これらの情報については他社から提供、または公開された情報を基にしています。
弊社では、情報の正確性および完全性について注意を払っていますが、開発元の状況変化に伴い、当ホームページの記載内容に変更が生じることがあります。

商標

- ・ Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Chrome、Chromium は、Google LLC の商標です。
- ・ Broadcom は、米国およびその他の国における Broadcom Limited の会社名です。
- ・ Brocade は、米国およびその他の国における Broadcom Limited の旧会社名です。
- ・ その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
- ・ なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

本件に関するお問い合わせ窓口

本件に関するお問い合わせは、各製品のサポート契約をご確認の上、日立ソリューションサポートセンターのサポート窓口にお問い合わせください。

なお、ご購入前またはサポート未契約の場合は、以下からお問い合わせください。

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/inquiry/index.html>